

論壇

政治の安定が続く日本

日本の経済政策について外国の人に話すときに触れることがある。それは、今回の安倍政権の前は6年間で6人の総理大臣が就任したということだ。毎年総理大臣が代わるような政治状況では、一貫した政策を行うことは難しい。それぞれの内閣が独自色を打ち出すとすると、それが毎年コロコロ変わるようでは政治の安定は望めないからだ。そうした意味では、2012年

伊藤 元重 (国際経済学) 学習院大教授

の末に安倍政権が成立してからは、政治は安定が続いている。安倍政権の政策についての評価は人によって異なるだろうが、少なくとも一貫した政策がとられている。目を世界情勢に転じてみると、残念ながら政治状況は安定的とは

化によって日韓関係が大きな影響を受けてきたが、これからの動きが懸念される。その先にある北朝鮮の動向はベールの向こうで見えない部分が多いが、政策が決して安定しているとは言えないだろう。上からの強

世界秩序が大きく変わる年

程遠い状態だ。隣の韓国では100万人を超える国民が大統領退陣を叫んで街に繰り出している。国会では大統領の弾劾の検討が続いている。そして朴槿恵大統領自身が、任期中で退陣すると発言をした。これまでも韓国の姿勢の変

問題があることは、外から見ても想像できる。習近平政権の下で、尖閣や南沙諸島などで中国の活動が攻撃的になつていることは大問題だ。また、当面は収まっているチャイナリスクと呼ばれる経済の不安定化への懸念はまだ残っている。米国ではよもやのトランプ政権が成立した。市場は当面は円安株高で歓迎しているようだが、この状況がいつまで続くのかは不透明だ。1月にトランプ大統領が実際に就任したあと、どのような驚きの政策を打ち出すのか、警戒感を

経済は不確定要素多く

持つて見ている人は多いはずだ。そしてそのトランプ大統領就任が、ロシアの姿勢に微妙な変化をもたらし、日口交渉にも影響が出てくると心配する向きもある。欧州では来年は選挙の年だ。EUからの離脱を決めた英国が、そのプロセスをどのように進めていくのか、それに対して経済がどのように反応するのも不確定要素が多い。いつの時代も政治は不安定なものだ。ただ、日本で見られる政治的安定とは相当に異なった状況が海外で起きていることは確かだ。来年は世界秩序が大きく変わる年になりそうだ。

*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。